

栄養科学研究科 博士後期課程 求める教員像及び教員組織編成方針

【求める教員像】

本学の求める教員像を踏まえ、栄養科学研究科 博士後期課程の教育目標「機能栄養学、健康・病態栄養科学、食品科学の各専門分野において、広く社会に貢献できる自立した研究者並びに栄養科学実践者の育成」の実現に向け、以下の項目について実践できる者。

- ・栄養科学研究科 博士後期課程の教育方針と3つのポリシーに基づき、熱意と愛情をもって学生の成長を促す教育・指導・支援を行う。
- ・専門分野における優れた研究業績をあげ、その成果を学生教育に還元するとともに、広く発信することで、社会および地域に貢献する。
- ・専門分野の教育研究に係る社会的要請に新しい発想をもって挑戦し、多様な価値観を受容しつつ柔軟に対応する。
- ・自らの役割を積極的に果たすとともに、他の教職員と信頼関係を築き協力・協働することによって、栄養科学研究科 博士後期課程の運営に寄与する。

【教員組織編成方針】

- ・大学院設置基準等関連法令に基づくとともに、栄養科学研究科 博士後期課程の目的を達成し、教育方針と3つのポリシーを実現するために必要な教員を適切に配置する。
- ・栄養科学研究科 博士後期課程における教育研究活動を継続的に実施するため、職位・年齢・性別・学問分野等のバランスを考慮し、実務家教員も含めた多様な人材を配置する。
- ・教員の募集・採用・昇任等にあたっては、栄養科学研究科 博士後期課程の運営に資する人事であるかに留意し、本学の関係諸規程等に基づき、透明性・適切性を担保しつつ、公正・公平に行う。
- ・栄養科学研究科 博士後期課程の教育・研究・社会貢献・管理運営の各種活動に対して、教員間で連携・協働するために、適切にその役割を分担する。
- ・栄養科学研究科 博士後期課程における教員の資質の向上ならびに教員組織としての多様な活動全般の改善等に資するため、組織的なFD活動を実施する。